

令和 2 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（総評）

【社 会】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備 考
2 東京書籍	<p>(1) 構成・配列については、毎時間の学習問題やアニメのキャラクターの吹き出しを示すなどして、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という段階を見開き2ページで明示しながら単元を進める展開の工夫が見られる。</p> <p>また、各学年の最初に「学習の進め方」のページを設け、問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得ができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 内容・指導の工夫については、キャラクターからの問いかけを用いて、本時学習の際の手がかりとなる視点を提示することで、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>また、「まとめる」場面において多様な表現活動を提示したり、「いかす」場面において自分にできることを考え、選択・判断する活動を設けたりすることで、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 使用上の利便性については、「まとめる」場面で学習問題を再提示して学習を振り返りやすくしたり、「Dマークコンテンツ」を活用して学習を深めたりすることができる工夫がなされている。</p> <p>また、文字の大きさ、本文と資料を区別できる構成など、児童が見やすく読みやすい配慮がなされている。</p> <p>(4) 社会的事象への関心をもたせ、児童がより理解できるようにするため、図表やグラフ等はカラーバリアフリーの観点から色調に違いがつけてあるとともに、模様や形、線種等でも判別できるような資料提示の工夫が見られる。</p> <p>自分との関わりや果たすべき役割を主体的に考えさせるために、「いかす」段階で自分たちにできることを考えさせたり、発表させたりする内容の工夫が見られる。</p> <p>(5) 社会的事象を身近に感じさせるために、インタビューをした方の写真や話を基にした資料を随所に用いて、多様な生き方に触れ、自分の生き方についてもより深く考えられるようにしている。</p> <p>問題解決的な学習を行うために、単元の「めあて」を設けて、小単元ごとに「学習問題」を設定し、各段階を示しながら、見通しをもって学習を展開する工夫が見られる。</p>	<p>5年上 P24～25</p> <p>5年上 P69</p> <p>5年上 P108～109</p> <p>5年上 P47</p> <p>3年 P10</p> <p>6年 政治・国際編 P62</p> <p>5年上 P26</p> <p>5年上 P7～9</p>

発行者	総 評	備 考
17 教育出版	<p>(1) 構成・配列については、学習問題やキャラクターの吹き出しを示すなどして問題解決の段階を踏みながら単元を進め、「次につなげよう」の欄で新たな問いを提示して、追究意欲を持続させる工夫が見られる。</p>	
	<p>また、各学年の最初に「社会科学習の進め方」のページを設け、問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得ができるよう工夫されている。</p>	5年P 4～5
	<p>(2) 内容・指導の工夫については、学習の視点や方法を巻頭の特設コーナーで提示したり、キャラクターの吹き出しを設けたりすることで、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p>	5年 P3
	<p>また、単元の末尾の「まとめる」コーナーでは、児童が多角的な視点から対話的に学習できるようキャラクターの吹き出しが提示され、児童が主体的に選択・判断し「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>	5年 P80～81
	<p>(3) 使用上の利便性については、例示を掲載して見通しをもたせながら学習が進められるようにしたり、「まなびリンク」を活用し、デジタル資料を使って学習を深めたりすることができる工夫がなされている。</p>	5年 P8～9
	<p>また、手描き風のイラスト、書体の太さの工夫など、児童が見やすく読みやすい配慮がなされている。</p>	
	<p>(4) 社会的事象への関心をもたせ、児童がより理解できるようにするため、カラーユニバーサルデザインに基づく見やすい配色になっており、記号は色だけでなく形からも区別できるような資料提示の工夫が見られる。</p>	6年 P97
	<p>自分との関わりや果たすべき役割を主体的に考えさせるために、「まとめる」段階の活動が例示してあり、学んだ事実を根拠にして自分の考えを表現させる工夫が見られる。</p>	6年 P270～271
	<p>(5) 社会的事象を身近に感じさせるために、具体的な地域の様子や取組が分かる資料を随所に用いながら、それを比較・考察させたり、関連付けて考えさせたりすることができるようにしている。</p>	5年 P18～19
	<p>問題解決的な学習を行うために、各単位時間の中心となる「この時間の問い」を設け、単元をとおして学習問題を段階的に追究していくことができるような工夫が見られる。</p>	5年 P20

発行者	総 評	備 考
116 日本文 教出版	<p>(1) 構成・配列については、毎時間の学習問題を示したり、「やってみよう」の欄で問題の解決へ向けた活動を具体的に例示したりするなどして、問題を解決しながら単元を進める展開の工夫が見られる。</p> <p>また、目次の次に「この教科書の使い方」のページを設け、問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得ができるよう工夫されている。</p>	5年 P4
	<p>(2) 内容・指導の工夫については、「空間」「時間」「関係」の三つの視点で整理された「見方・考え方」のコーナーを提示することで、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>また、異なる立場から話し合い、どう行動すればよいかを考えたり、自分の考えをまとめて表現する方法を示したりするなど、社会との関わりを選択しながら、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>	5年 P21 P48 P49
	<p>(3) 使用上の利便性については、例示を掲載して問題意識を焦点化し、見通しをもって学習が進められるようにしたり、「デジタルマーク」を活用して、学習を深めたりすることができる工夫がなされている。</p> <p>また、子どもの発言を枠で囲んだり、色調に配慮したりし、児童が見やすく読みやすい配慮がなされている。</p>	5年 P82
	<p>(4) 社会的事象への関心をもたせ、児童がより理解できるようにするため、グラフや地図は、カラーユニバーサルデザインに対応した色調や色の組み合わせだけでなく、ドット等で見やすくする資料提示の工夫が見られる。</p> <p>自分との関わりや果たすべき役割を主体的に考えさせるために、学習問題の追究後、「さらに考えたい問題」を設定して、自分の考えをより深めさせる工夫が見られる。</p>	5年 P77 P84
	<p>(5) 社会的事象を身近に感じさせるために、地域の実態に即して扱える資料があり、その中には、本県における畜産業に関する資料も多く用いられ、農家や県庁の方のインタビュー等を基に追究できるようにしている。</p> <p>問題解決的な学習を行うために、「わたしの問題」、「学習問題」、「さらに考えたい問題」が設けられており、追究活動の充実を図る工夫が見られる。</p>	6年 P249
		5年 P104~109
		5年 P114~115 P121